



谷原小だより6月号

平成23年6月1日
練馬区立谷原小学校
校長 眞瀬 敦子

「やわらっ子 最後の校庭でかがやいて」

校長 眞瀬 敦子

6月の別名は「水無月」。田んぼに水を張る「水張月」が語源とも、天の水瓶が空になるほど降るからとも言われていますが、今年の梅雨入りは殊の外早く、猛暑の昨年からは17日、例年からでも12日も早いとのこと。長梅雨になるのか、それとも梅雨明けも早くまた猛暑が襲ってくるのかと、電力不足の夏に今から先が思いやられますが、今週末の運動会は何とか晴天に恵まれそうです。

表題は子供達で作った今年のスローガンです。まさに改築直前の広い校庭で、元気いっぱい輝いてほしいと思います。

運動会に先立ち私は朝会で、「自分の限界に挑戦すること、みんなと力を合わせて工夫すること、そして心を込めて応援することが運動会の意義だ」というお話をしました。それを受けて5年生が素敵な俳句を作ってくれましたので、いくつか紹介します。

○周りから やる気がたくさん 燃えうつる (木村 公樺)

○わたし赤 友だち白でも がんばるぞ (山本 寧音)

○太陽が みんなの汗を かがやかす (増島 太一)

○騎馬戦で 大将守って 優勝だ (齋藤 優希)

リレー選手に選ばれるかどうかは、子供達にとって重大事です。選ばれて晴れ舞台に立てる子の陰に、涙を流す子もいます。それを解ってこそ本物の選手です。

○赤のため みんなのバトンをつなげるぞ (神谷 知宏)

○バトン受け 力以上に 走りぬく (丹羽 巧実)

何といっても運動会の華は高学年による組体操です。でも身体の大きな子はいつも土台。本当はてっぺんにもなってみたいのです。

○辛抱だ 土台あつての 組体操 (木村 秀蔵)

○組体操 うしろは俺に まかせとけ (加藤 太一)

○ドラゴンだ 土台信じて 上のるぞ (石岡 玲海)

そしてどの子も本音は、

○家族には カッコいいとこ 見せたいな (柏村 泰成)

子供達が真剣にやる姿は、成功しても失敗しても、本当にかっこいいものです。是非その姿をご覧にいらしてください。そして頑張ったことはもちろん、失敗してもかっこよかったよ！と褒めてあげてください。

震災への対応について 余震もだいぶ落ち着いてきたようですので、ランドセルに挟んで持ち帰っていた防災頭巾は、学校教室に置いておくこととします。もちろん状況が変われば、それに対応いたします。忘れずに持つ習慣が身につけていけば、今まで通り毎日持ち帰るのが一番安全です。

熱中症予防のために 運動会の練習も佳境に入り、暑い日も多くなってきました。運動の際、こまめに水分補給をする必要がありますので、すぐ飲めるよう水筒に水を入れて持たせてくださっても結構です。その際は、水筒の衛生に十分気をつけてください。

